

# エルサルバドル政治経済月報 (2022年8月分)

2022年9月  
在エルサルバドル大使館

## 内政

### 1. 2024年大統領選挙等の投票日の発表

8月11日、最高選挙委員会(TSE)は2024年に予定されている大統領選挙、国会議員選挙、全国市長選挙及び中米議員選挙の投票日を発表し、大統領選挙と国会議員選挙の投票日は2月4日、全国市長選挙と中米議員選挙の投票日を3月3日と定めた。また、大統領選挙に関しては、第1回目の投票で過半数の票を獲得する候補者がいない場合、上位2名の間で決選投票が別途行われるが、その決選投票の日は3月3日と定められた。

### 2. 地方交付金法案の可決

(1)8月16日、当国国会は、同日セラヤ財務大臣が国会に提出した地方交付金に係る法案を即日可決した。同法案は、ブケレ政権下で地方社会経済開発基金(FODES)が削減されたことにより、全国の多くの自治体で財政難が発生していることに対応するためのもの。今般可決された法案によると、人口7万3千人以下の自治体(全国262市のうち243市)に対し、人口に応じて月々地方交付金が支給される。人口に応じた支給額は以下のとおり。

ア 人口1万5千人までの自治体(164市):月額12,713ドル

イ 人口1万5千1人から3万人の自治体(49市):月額18,722ドル

ウ 人口3万1人から4万5千人の自治体(15市):月額27,800ドル

エ 人口4万5千1人から7万3千人の自治体(15市):月額50,040ドル

(2)FODESの本来の用途は公共事業等、社会経済開発に資する内容に限定されるものであったのに対し、今回の地方交付金の用途は、ゴミの回収や奨学金、高齢者への対応などの自治体サービスの支払いに充てられるものであり、公共事業に関しては、引き続き地方自治体公共事業国家局(DOM)の管轄の下行われるとセラヤ財務大臣は説明した。

## 外交

### 1. ヒル外務大臣と米国下院議員との会談

(1)8月1日、ヒル外務大臣はエルサルバドルを訪問した米国のコレア下院議員(民主党)、パネッタ下院議員(民主党)、スピンバーガー下院議員(民主党)及びゴンザレス下院議員(共和党)と会談し、エルサルバドルと米国の二国間の関心事項に関し意見交換を行った。

(2)ヒル外務大臣は、歴史的友好関係を踏まえた、尊重・対話・長期的視点に基づく二国間関係を望む旨述べ、ブケレ政権は教育分野にGDPの5.1%、保健分野に6%を投資していること、昨今の世界的なインフレへの対策として150万ドルを拠出している等を説明した。コレア下院議員は、米国は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響から回復する道程にあり、中米諸国との関係を再度強化する意思を有していると述べた他、エルサルバドル国民及び在米エルサルバドル人の福祉のために引き続き協力していきたい旨述べた。また、同下院議員は、米国企業がエルサルバドルへの投資を検討するための働きかけを行ってきている旨説明した。更に両者は、移民問題に関して秩序だった安全かつ正規の人の移動を引き続き促進していくことの必要性で一致した。

### 2. 国連人権高等弁務官事務所による報告

8月15日付当地主要各紙は、エルサルバドル政府が国連人権高等弁務官事務所に対し、憲法で

保障される権利の一時的制限措置下における同国政府による人権侵害の可能性に関する報告を行った旨以下のとおり報じた。

ア 3月27日より実施されている憲法で保障される権利の一時的制限措置下においては、8月上旬までに4万9千人以上のギャングと目される者の身柄が拘束されている。NGO 団体クリストサルの報告によれば、同措置下において、約2千6百件の誤認逮捕の訴えが行われ、また、身柄が拘束された者のうち66名が死亡している。なお、死亡者数に関しては幅があり、エルサルバドル法医学研究所は少なくとも69名と報告している。このような状況に対し、国連人権高等弁務官事務所は本年6月上旬、エルサルバドル当局による人権侵害、恣意的な身柄拘束、拷問などの可能性に関する懸念を表明していた。

イ これに対し、エルサルバドル国連代表部は国連人権高等弁務官事務所に対し、憲法で保障される権利の一時的措置下において身柄が拘束された者の中には、収容所の中で死亡した者がいるという事実を認め、これら死亡の事例に関しては同国検察庁などが捜査を行っている旨の報告を行った。さらに、エルサルバドル政府は、身柄拘束者に対しては必要な医療行為を行っているとした。

ウ エルサルバドル法医学研究所の報告書によれば、69名の死亡者のうち35名は取調中に受けた暴力によって、22名は適切な医療行為を受けられなかったため死亡したとされている。また、ホセ・シメオン・カニヤス中米大学の人権観察研究所は、人権擁護局に対して憲法で保障される権利の一時的措置下において拷問に関する306件の訴えがなされていると報告しているが、今般、エルサルバドル国連代表部が国連人権高等弁務官事務所に対して行った報告では、拷問の事実はないとされている。

### 3. チリのボリッチ大統領の発言に対するブケレ大統領の反応

(1) チリのボリッチ大統領は米「Time」誌による取材において、「率直に言って、ブケレ大統領が行っている統治手法と、私の考えが一致しているとは感じない。彼も私に対して同様のことを言うであろう。犯罪組織対策、治安対策という非常に困難な問題への対応として決断をする必要はあるが、だからといって、民主主義を制限していいわけではない。権威主義への傾斜が明らかに存在する」旨述べた。また、同大統領は、「ブケレ大統領は国際会議に参加しないので、私は個人的に彼のことを知らない。なぜ国際会議に参加しないのか、他の首脳に会うことに不都合があるのかという疑問が生じる」旨述べた。

(2) これに対し、8月31日、ブケレ大統領は自身のツイッターに、「重要なことは、ボリッチ大統領が私の考えと一致することではなく、我々の兄弟であるチリの国民の考えがボリッチ大統領の考えと一致することである」とのメッセージを発出した。

## 経済

### 1. 統計調査総局 (DIGESTYC) の解体

(1) 8月9日、当国国会は統計調査総局 (DIGESTYC) の解体に係る法案を可決した。今後はエルサルバドル中央銀行 (BCR) が同機関の役割を担う予定となる。

(2) 政権与党である新思想党 (NI) 所属のソリアーノ国会議員は、同法案の目的が DIGESTYC の機能を BCR に移すことで、より強固で専門的な統計調査機関になることにある旨述べた。さらには、NI 所属のカジェハ国会議員は、DIGESTYC の職員が BCR に移る予定ではあるものの、全ての職員を対象とはしておらず、また多くの職員が既に定年を迎えていることから、再雇用する考えを示すとともに、職員の労働の安定性を確保する旨述べた。

(3) 他方で、野党政党及び当地経済学者からは同法案に対する反対の声が上がっており、ファラブンド・マルティ民族解放戦線 (FMLN) 所属のベジェソ国会議員は、当国政府の真の目的が統計データの中央集権化である旨反論した。また、経済学者のマロキン氏は、当国政府がどのような政治的・制度的な目的を果たそうとしているのかは明らかとなっていないが、統計データを担う機関を弱体化させることに成功した旨述べた。

(4) 今後、これまで DIGESTYC を所管していた経済省と BCR の間で、DIGESTYC の解体を担当する委員会が設置される予定であり、同委員会は、同法案の可決及び発効後から 120 日以内に行われる。

## 2. 燃料の固定価格化の再延長

(1) 8 月 30 日、当国国会は、今年 8 月 31 日までとしていた燃料の固定価格化を 10 月 20 日まで延長する法案を可決した。同法案には、政権与党である NI の他、国民共和同盟 (ARENA) 及び FMLN 所属の一部国会議員も賛成票を投じた。

(2) また同日、当国国会は、経済安定・推進基金 (FEFE) 及び輸送税 (Cotrans) の 2 種類を免除する法令についても、燃料の固定価格化と同様に 10 月 20 日まで再延長する旨の法案を可決した。

## 3. 国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) による当国の経済見通し

(1) 8 月 23 日、国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) は、2022 年の当国の経済見通しを発表し、経済成長率の予測値を 2.5% とした。同数値は同年 4 月の発表から 0.5% の下方修正となり、中米地域においては、最も低い予測値となった。他方で、ECLAC は、2022 年における中南米地域全体の経済見通しを前回発表から 0.9% 増の 2.7% になる旨予測した。

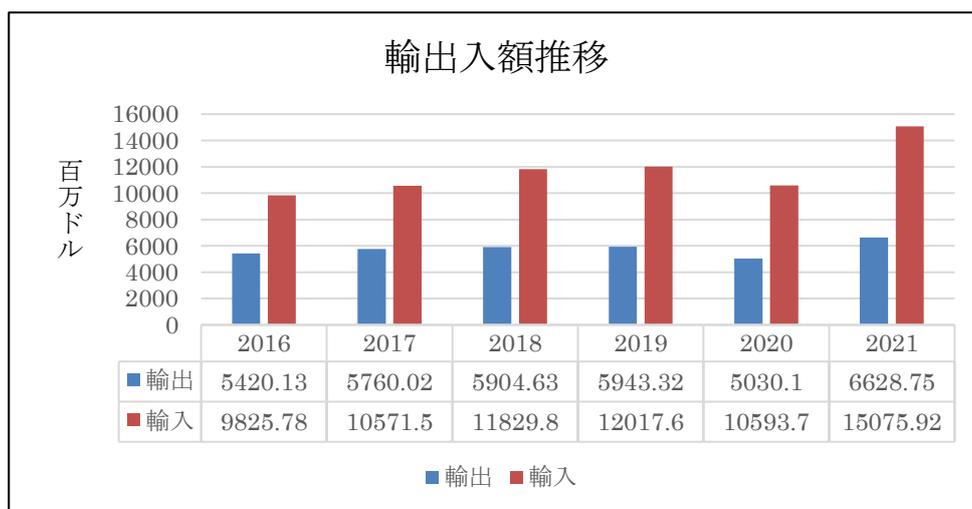
(2) ECLAC は、2022 年及び今後数年間の中南米地域の経済が、鈍い貿易成長率、ドル高、世界的な金融引き締め等、複雑な課題に直面しているとし、経済成長、投資、貧困や不平等の削減に繋がり、同時にインフレに対応するためのマクロ経済政策が必要である旨説明した。

(3) ECLAC が発表した中米地域における 2022 年の経済見通しは以下のとおり。

- ア パナマ : 7.0%
- イ グアテマラ : 4.0%
- ウ ホンジュラス : 3.8%
- エ コスタリカ : 3.3%
- オ ニカラグア : 3.0%
- カ エルサルバドル : 2.5%

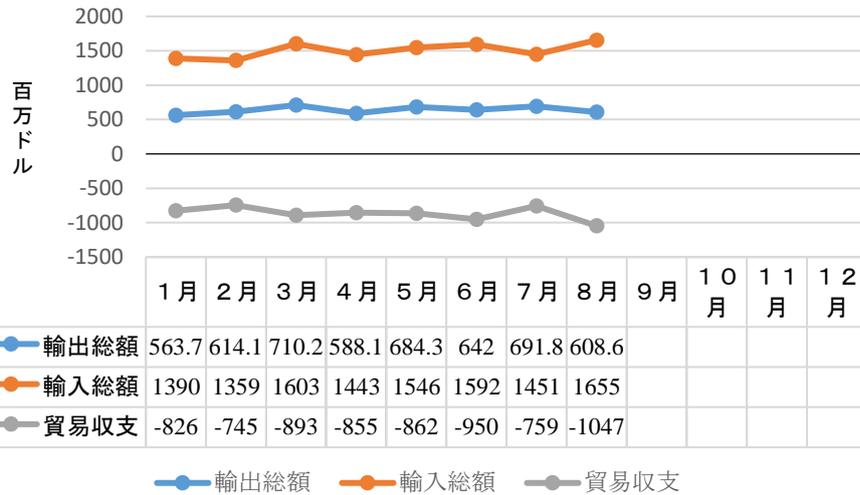
## 4. 貿易総額

・2021 年の輸出総額は 66 億 2,880 万ドル (前年比 31.8% 増)。輸入総額は 150 億 7,592 万ドル (前年比 47.1% 増) となった。



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

## 2022年8月までの輸出入額及び貿易収支額

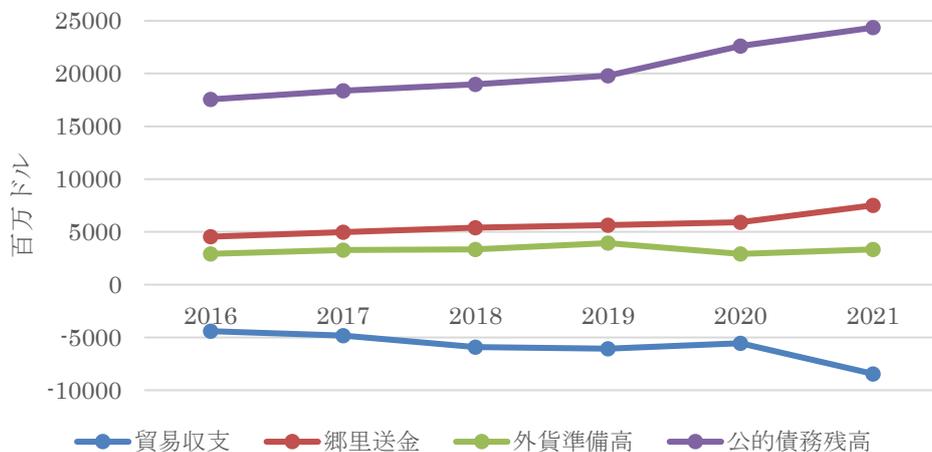


(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

### 5. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2021年度の貿易収支額はマイナス84億4,720万ドルとなり、前年より赤字額が28億8,357万ドル拡大した。
- ・ 2021年の郷里送金額は75億1,710万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の94.9% (71億3,050万ドル) を占めた。

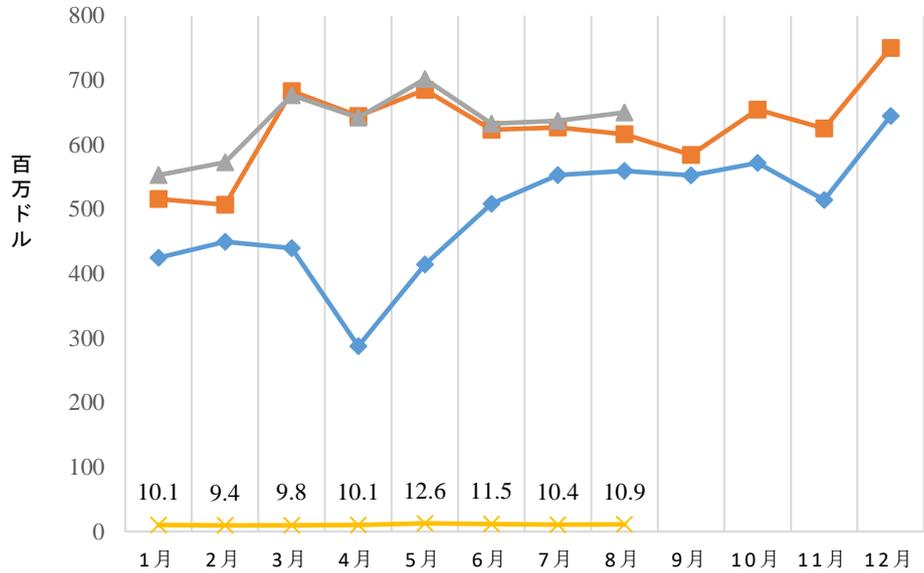
### 貿易収支額/郷里送金/外貨準備高/公的債務残高



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

## 郷里送金額推移表（2020年～2022年）

◆ 2020年    ■ 2021年    ▲ 2022年    ✕ 2022年（デジタルウォレット）

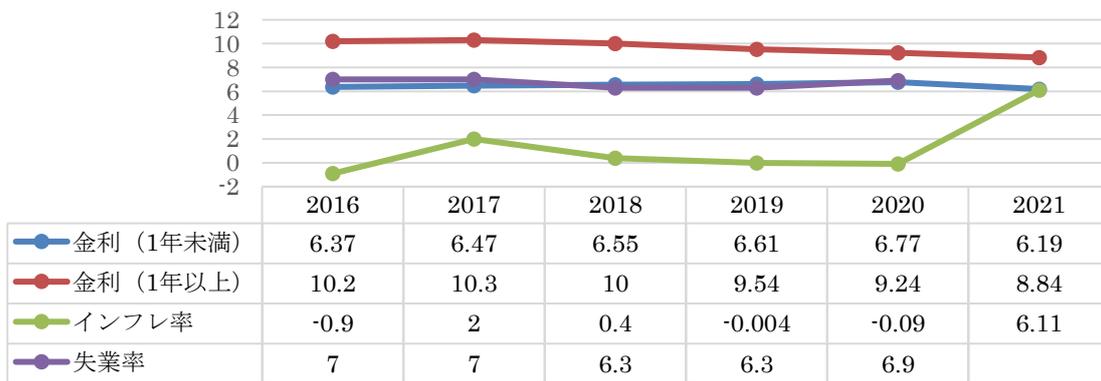


（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

## 6. 金利・インフレ率

・2021年のインフレ率はプラス6.11%であった。また2020年のインフレ率はマイナス0.09%であった。2020年の失業率は6.9%であった。

### 金利/インフレ率/失業率



◆ 金利（1年未満）    ● 金利（1年以上）    ● インフレ率    ● 失業率

（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

# 治安

## 1. 殺人事件の急増を受けた憲法で保障される権利の一時的制限措置の期間延長（5回目）

8月16日、当国国会は、憲法で保障される権利の一時的制限措置の30日間の期間再延長（5回目）を承認した。野党のARENA、FMLN、バモス党（VAMOS）及び、NUESTRO Tiempo党は、3月27日以来、憲法で保障される権利の一時的制限措置を支持せず、今回の5回目の延長も支持しなかった。憲法で保障される権利の一時的制限措置により、治安当局は、テロリスト（注：当国政府はギャングのメンバーをテロリストと呼んでいる）を50,000人以上拘束し、銃器1,310丁、車両1,551台、麻薬275,000ドル相当を押収、同措置での142日間で、殺人事件が無かった日は78日間となったと発表されている。

## 2. 憲法で保障される権利の一時的制限措置下での1日あたり平均殺人件数について

(1) 本年3月27日に発効された憲法で保障される権利の一時的制限措置により、8月14日までの141日間の殺人件数は、1日平均0.78人であり、1月1日からの1日平均殺人件数は1.83人であった。この数値について、メリーノ国防長官は、「犯罪地域コントロール計画により殺人件数が1日平均1.83人となったが、ブケレ政権が発足する前の2019年は、殺人件数が1日平均18.24人であり、比較すると大きな意味がある」と述べた。

(2) 同長官は、犯罪地域コントロール計画は、エルサルバドルで実施された最も優れた治安政策であると強調し、殺人事件の減少だけではなく、強盗、自動車盗難、失踪、性犯罪など、エルサルバドル人を苦しめてきた犯罪の減少も達成していると断言した。

(3) 本年8月の殺人事件が発生していない日は、14日までで10日間あり、憲法で保障される権利の一時的制限措置下での拘束人数は49,835人となっている。

## 3. マラ・サルバトルーチャ（MS-13）指導者の拘束について

(1) 国家文民警察（PNC）の組織犯罪対策精鋭部門（DECO）の捜査官は、最新技術を駆使し、サンタアナ県にあるサン・マティアス住宅街で、マラ・サルバトルーチャ（MS-13）に所属するラミレス（通称：スリーピー）容疑者を拘束し、対戦車グレネードランチャー、M-16ライフル、リボルバー、ピストルを押収した。同容疑者には、殺人や薬物所持などの前科があった。

(2) ビジャトロ司法・公共治安大臣は、「同容疑者は、MS-13を取り仕切る15人の指導者のうち9番目の序列にいた指導者であり、我々は3月27日以降、これらの犯罪者を追跡してきた。少なくとも、エルサルバドルでのここ10年間の犯罪は、全て彼らに責任がある」と述べた。

(3) 同容疑者は、MS-13の31のグループの下に構成された430以上の下部組織全体に、犯罪行為の実行を指示できる指導者の一人であった。

【観光地等における危険度レベル】

レベル 1: 十分注意区域	レベル 2: 不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	プエルタ・デル・ディアブロ
プレシデンテ劇場	
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタテレサ温泉	
スチット旧市街	
サンアンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサブランカ遺跡	
サンタアナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サンミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	行方不明者	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	誘拐
2022年7月	593	147	246	17	46	138	58	15	178	106	0
2022年8月	618	155	241	18	43	135	58	8	237	106	0

